

「JICA 草の根技術協力事業（草の根協力支援型）に応募して：トンガ王国における歯科保健の為のプロジェクト」

南太平洋医療隊 ○河村サユリ 河村康二

<http://spmt.jp/>

E-Mail:Kawamura@pb3.so-net.ne.jp

【要約】

南太平洋医療隊は1998年よりトンガ王国において 歯科ボランティア活動を行っている。ボランティア活動を行うためには資金の確保は欠かせない。以前は埼玉県より3年間資金の補助を得ていたが2004年より自己資金にて活動をしている。2004年1月にJICA 草の根協力支援型事業提案書を提出し、以後修正を重ねた。事業提案書を作成するにあたりPCM法の一部を採用し作成する方法を学んだ。2005年2月に条件付き内定となりJICAからの要検討事項に回答書を作成提出する。2005年8月に提案書を再提出し9月に採択内定書を受け取る。11月にJICA トンガ事務所とトンガ政府健康省との口上書（MINUTES）を提出したが、その後外務省レベルの同意が必要との事でFIJIの日本大使館とトンガ王国政府との口上書（MINUTES）が2006年4月に交わされた。5月に1年間の予算書を作成提出しここに至った。この間2004年に提案書を提出し2006年5月の実施に至るまでトンガ王国でのボランティア活動は自己資金にて運営しJICAとの事業実施まで様々な経過をたどった。今後3年間はJICAとの共同事業の形でボランティア活動を行う計画である。2004年より現在まで私達の活動は徐々にではあるが確実に進化し、現在は学校保健・フッ化物洗口を行う施設、幼稚園・小学校は30施設約4000名の児童を対象に実施するようになった。健康省ではワークショップを開催し、町では「歯の健康フェスティバル」を数カ所で開催した。反面2004年より現在まで自己資金で活動を維持していく大変さを体験した。JICAとの提案書の実施までの事務手続きに費やす時間が多く困難であった。本事業の提案書の作成、実施に向けて多大な労を要していただき感謝するしだいです。発表ではトンガ王国でのボランティア活動の経過、JICAとの草の根協力支援型事業が採択されるまでの経過と今後の内容を述べ、以降草の根協力支援事業に応募するJAICOHの会員、他のボランティア団体がもっとスムーズに実施されるようになるような布石になればと考えます。

【謝辞】

南太平洋医療隊の活動にご支援・ご協力をいただいた日本大学松戸歯学部社会口腔保健講座、日本大学松戸歯学部国際保健部、トンガ国立VAIOLA病院、南太平洋医療隊員に感謝いたします。